



平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成27年10月30日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 バッファロー
コード番号 3352 URL <http://www.buffalo.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 坂本 裕二

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 日下部 直喜

TEL 048-227-8860

四半期報告書提出予定日 平成27年11月12日

配当支払開始予定日

平成27年12月1日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	4,033	9.9	△85	—	△47	—	△36	—
27年3月期第2四半期	3,669	△7.7	△171	—	△138	—	△89	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	△17.55	—
27年3月期第2四半期	△43.35	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭
28年3月期第2四半期	6,106	—	4,360	—	71.4	2,115.18
27年3月期	5,967	—	4,427	—	74.2	2,147.69

(参考)自己資本 28年3月期第2四半期 4,360百万円 27年3月期 4,427百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	15.00	—	15.00	30.00
28年3月期	—	15.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	15.00	30.00

(注)直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,867	4.0	147	58.3	200	16.9	115	41.7	55.78

(注)直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項 (2)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期2Q	2,061,600 株	27年3月期	2,061,600 株
② 期末自己株式数	28年3月期2Q	137 株	27年3月期	137 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期2Q	2,061,463 株	27年3月期2Q	2,061,500 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(四半期決算説明会内容の入手方法について)

当社は、平成27年11月6日(金)に証券アナリスト・機関投資家向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布する四半期決算説明資料については、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第2四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国の経済は、中国経済の下振れリスクの高まりによる世界貿易の停滞と株式市場の不安定化を背景に、海外輸出の鈍化と在庫調整による設備投資の抑制等が見られました。一方で、円安効果による海外収益の押し上げと原油価格の下落により企業収益は堅調に推移しており、また、雇用・所得環境は引き続き良好で、個人消費は緩やかな回復傾向にあります。

カー用品市場におきましては、エコカー減税の基準厳格化と軽自動車税増税の影響により新車販売台数は前年割れが続いており、消費税率引き上げにより低迷した前年同期からタイヤ販売等が持ち直しつつあるものの、需要は依然として力強さを欠く状況にあります。

この様な環境において当社は、平成26年9月に株式会社サイケイから事業承継した店舗の販売力の強化に取り組み、客単価向上による収益化を推し進めるとともに、平成27年7月に「オートボックス坂戸店」のリロケーションを行うなど、既存店舗の活性化に注力してまいりました。

事業承継した2店舗が通期営業となり、売上増に寄与した他、ピット・サービスにおいては車検の早期予約キャンペーン等の施策による車検顧客の確保や迅速・廉価に車体を補修できる板金・塗装サービス「クイック・エコ・リペア」の拡販を重点課題に掲げ取り組んだことにより、ピット・サービス工賃部門の売上高は前年同期比13.0%増となり、またカー用品とのシナジーも見込まれる新車・中古車買取販売の取り扱いを2店舗から7店舗に増強したことで、自動車部門の売上高は同78.9%の増加となり、増収に寄与致しました。

なお、中期施策として固定顧客化による安定的な収益確保と自動車事故時の修理サービス等への相乗効果を図るべく、平成23年11月より開始している自動車保険代理店事業につきましては、継続的な取り組みにより保有契約件数が順調に伸長しております。

以上の結果、当第2四半期累計期間の業績は、売上高4,033,202千円（前年同期比9.9%増）、営業損失85,320千円（前年同期は営業損失171,687千円）、経常損失47,368千円（前年同期は経常損失138,439千円）、四半期純損失36,186千円（前年同期は四半期純損失89,369千円）となりました。

各品目別の売上高及び構成比率は次のとおりであります。

品目別の売上高及び構成比率

(記載金額は百万円未満を切捨)

品目	前第2四半期累計期間		当第2四半期累計期間		前事業年度	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
	(百万円)	(%)	(百万円)	(%)	(百万円)	(%)
ピット・サービス工賃	1,000	27.3	1,131	28.1	2,138	25.1
タイヤ・ホイール	734	20.0	793	19.7	2,219	26.0
カーエレクトロニクス	592	16.1	663	16.5	1,129	13.3
車内用品・車外用品	607	16.6	597	14.8	1,454	17.1
オイル・バッテリー	297	8.1	321	8.0	668	7.8
カースポーツ	293	8.0	288	7.2	608	7.1
自動車	107	2.9	192	4.8	240	2.8
その他	34	1.0	44	0.9	66	0.8
合計	3,669	100.0	4,033	100.0	8,525	100.0

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べ2.3%、138,899千円増加し6,106,171千円となりました。これは主に、建物の増加に対し、差入保証金が減少したことなどによるものであります。

負債は、前事業年度末に比べ13.4%、205,920千円増加し1,745,804千円となりました。これは主に、買掛金及び長期借入金（1年内返済予定の長期借入金を含む）の増加に対し、未払法人税等が減少したことなどによるものであります。

純資産については、前事業年度末に比べ1.5%、67,021千円減少し4,360,366千円となりました。これは主に、配当金の支払、四半期純損失の計上などによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期の通期業績予想につきましては、平成27年5月8日の「平成27年3月期 決算短信」で公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等を第1四半期会計期間から適用し、取得関連費用を発生した事業年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期会計期間の四半期財務諸表に反映させる方法に変更しております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

これによる損益に与える影響はありません

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,434,772	1,408,279
売掛金	373,292	367,128
商品及び製品	1,042,007	1,039,356
その他	322,762	350,014
流動資産合計	3,172,834	3,164,780
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	577,885	769,156
土地	422,678	422,678
その他（純額）	383,143	396,479
有形固定資産合計	1,383,707	1,588,313
無形固定資産	64,667	61,927
投資その他の資産		
差入保証金	1,044,174	991,383
その他	301,888	299,766
投資その他の資産合計	1,346,063	1,291,149
固定資産合計	2,794,437	2,941,391
資産合計	5,967,271	6,106,171
負債の部		
流動負債		
買掛金	224,067	374,497
1年内返済予定の長期借入金	91,572	128,616
未払法人税等	73,907	13,331
賞与引当金	99,554	106,363
ポイント引当金	38,257	36,112
資産除去債務	5,000	—
その他	348,898	251,654
流動負債合計	881,255	910,574
固定負債		
長期借入金	169,300	275,004
退職給付引当金	322,798	336,697
資産除去債務	67,940	76,819
その他	98,588	146,708
固定負債合計	658,627	835,229
負債合計	1,539,883	1,745,804
純資産の部		
株主資本		
資本金	510,506	510,506
資本剰余金	485,244	485,244
利益剰余金	3,431,372	3,364,263
自己株式	△117	△117
株主資本合計	4,427,006	4,359,898
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	380	468
評価・換算差額等合計	380	468
純資産合計	4,427,387	4,360,366
負債純資産合計	5,967,271	6,106,171

（2）四半期損益計算書
（第2四半期累計期間）

（単位：千円）

	前第2四半期累計期間 （自平成26年4月1日 至平成26年9月30日）	当第2四半期累計期間 （自平成27年4月1日 至平成27年9月30日）
売上高	3,669,695	4,033,202
売上原価	1,982,324	2,148,100
売上総利益	1,687,370	1,885,101
販売費及び一般管理費	1,859,058	1,970,422
営業損失（△）	△171,687	△85,320
営業外収益		
受取利息	5,969	6,595
受取手数料	16,127	16,989
その他	20,878	23,521
営業外収益合計	42,976	47,106
営業外費用		
支払利息	3,094	2,585
たな卸資産除却損	—	4,295
のれん償却額	3,719	—
その他	2,914	2,272
営業外費用合計	9,728	9,154
経常損失（△）	△138,439	△47,368
特別利益		
受取保険金	13,002	—
特別利益合計	13,002	—
特別損失		
災害による損失	6,821	—
特別損失合計	6,821	—
税引前四半期純損失（△）	△132,257	△47,368
法人税、住民税及び事業税	3,102	3,410
法人税等調整額	△45,990	△14,591
法人税等合計	△42,888	△11,181
四半期純損失（△）	△89,369	△36,186

（3）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

当社は、各店舗を基礎としたカー用品販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。